

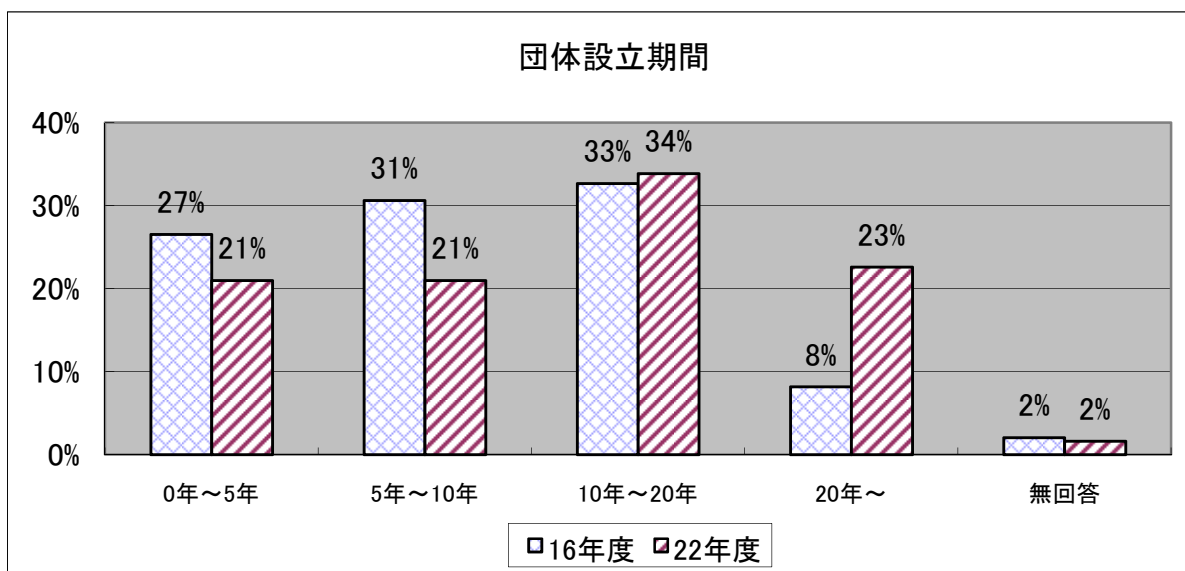
平成22年度「阪南市市民公益活動推進に関する指針」見直しにかかるアンケート調査

(問1)

あなたの団体の概要についてお聞きします。当てはまる番号を○で囲んでください。
また、記述する箇所は、具体的にお書きください。

■ 団体設立からの期間

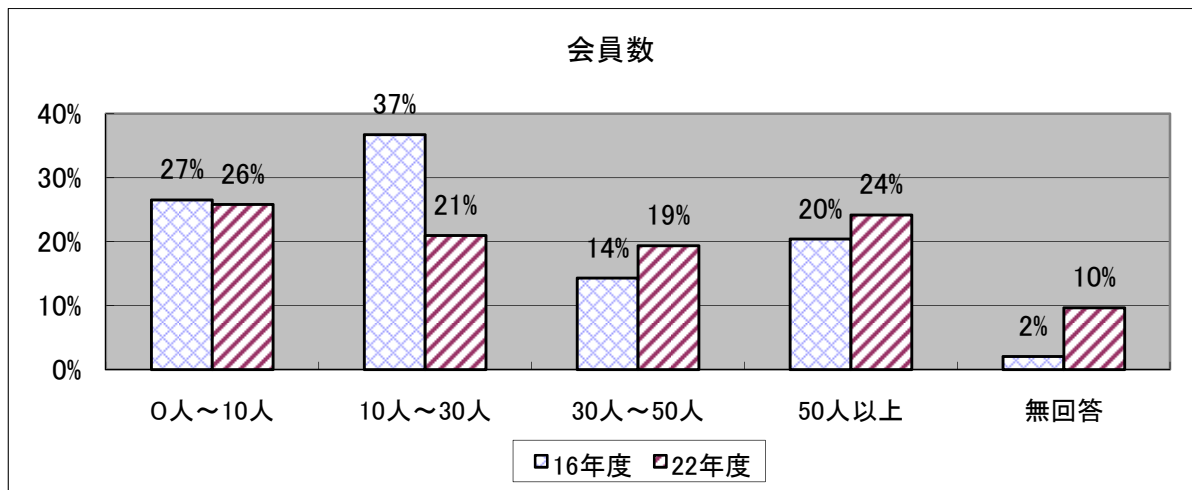
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
0年～5年	27%	21%	13	13
5年～10年	31%	21%	15	13
10年～20年	33%	34%	16	21
20年～	8%	23%	4	14
無回答	2%	2%	1	1
合計	100%	100%	49	62



10年以上、継続して活動している市民活動団体が増加し、全体の約6割を占めている。

■ 会員数

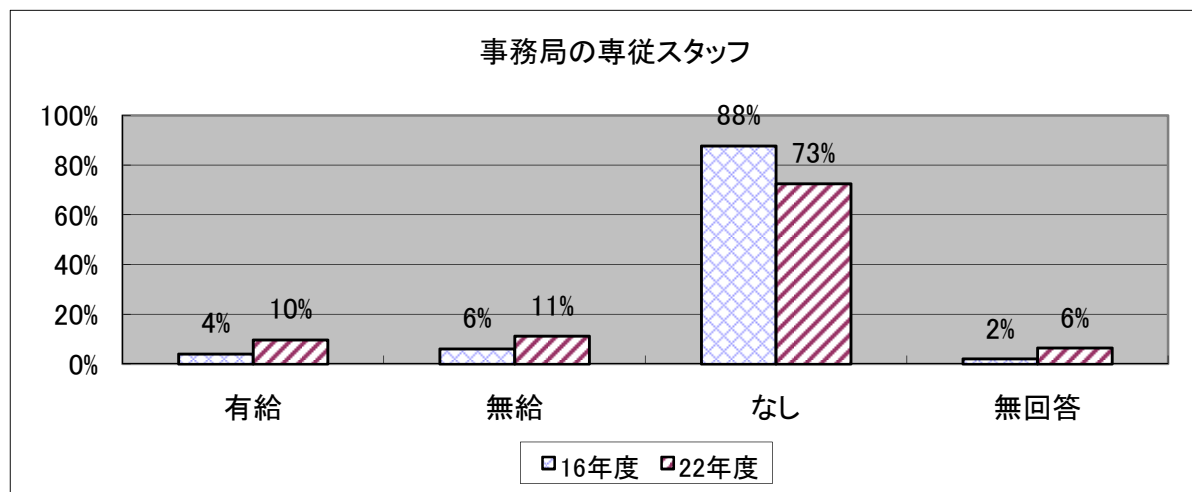
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
0人～10人	27%	26%	13	16
10人～30人	37%	21%	18	13
30人～50人	14%	19%	7	12
50人以上	20%	24%	10	15
無回答	2%	10%	1	6
合計	100%	100%	49	62



会員数30人以上の市民活動団体が増加した。

■ 事務局の専従スタッフ(該当番号全てに○)

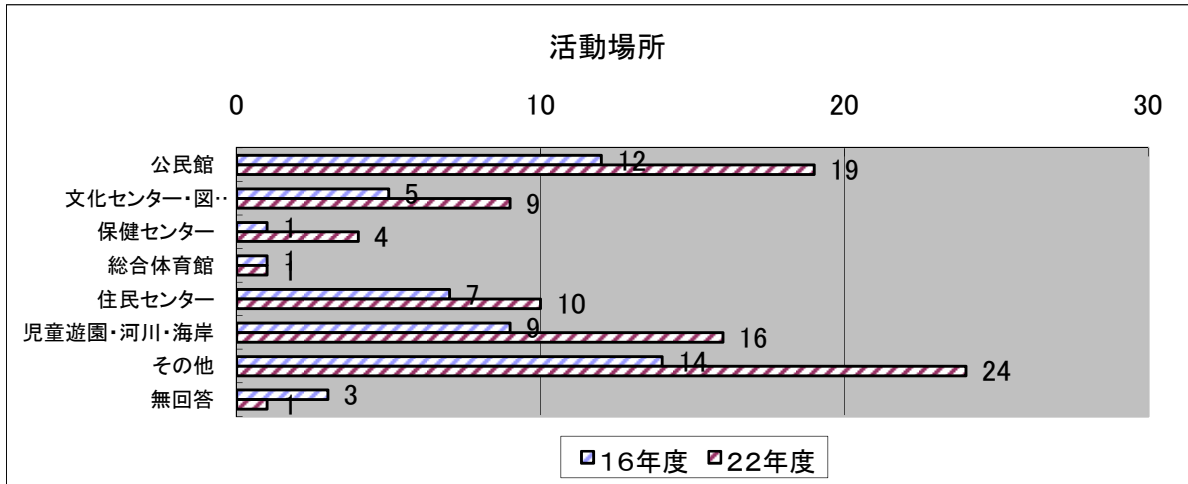
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
有給	4%	10%	2	6
無給	6%	11%	3	7
なし	88%	73%	43	45
無回答	2%	6%	1	4
合計	100%	100%	49	62



専従スタッフを置いている市民活動団体が少し増加した。

■活動場所(該当番号全てに○)

	16年度	22年度
公民館	12	19
文化センター・図書館	5	9
保健センター	1	4
総合体育館	1	1
住民センター	7	10
児童遊園・河川・海岸	9	16
その他	14	24
無回答	3	1

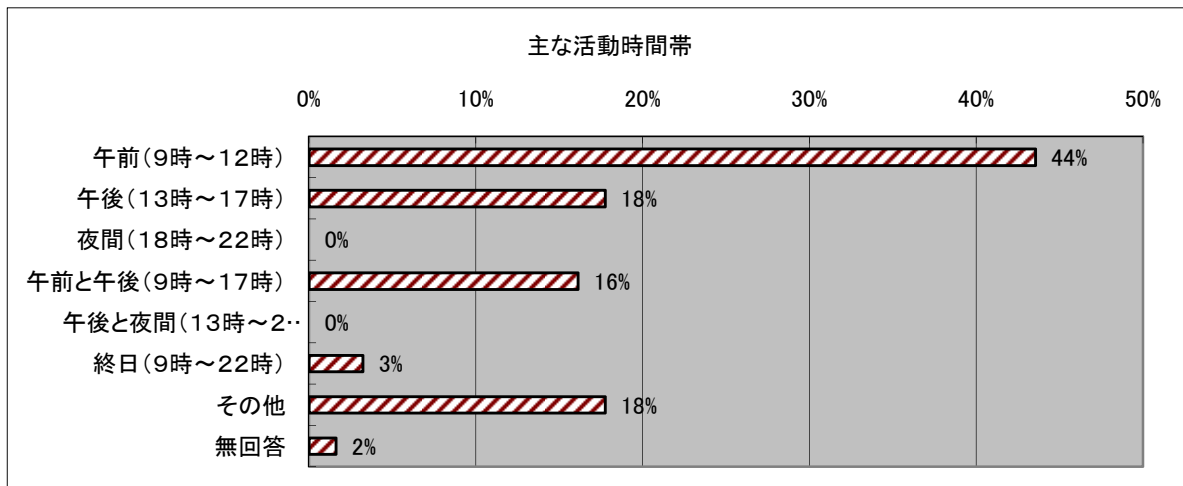


公民館、文化センター・図書館、及び児童遊園・河川・海岸で活動している市民活動団体が増加した。

(その他: 小中学校、保健センター分室、あたごプラザ、ふれあいホーム、老福センター)

■主な活動時間帯(1つに○)

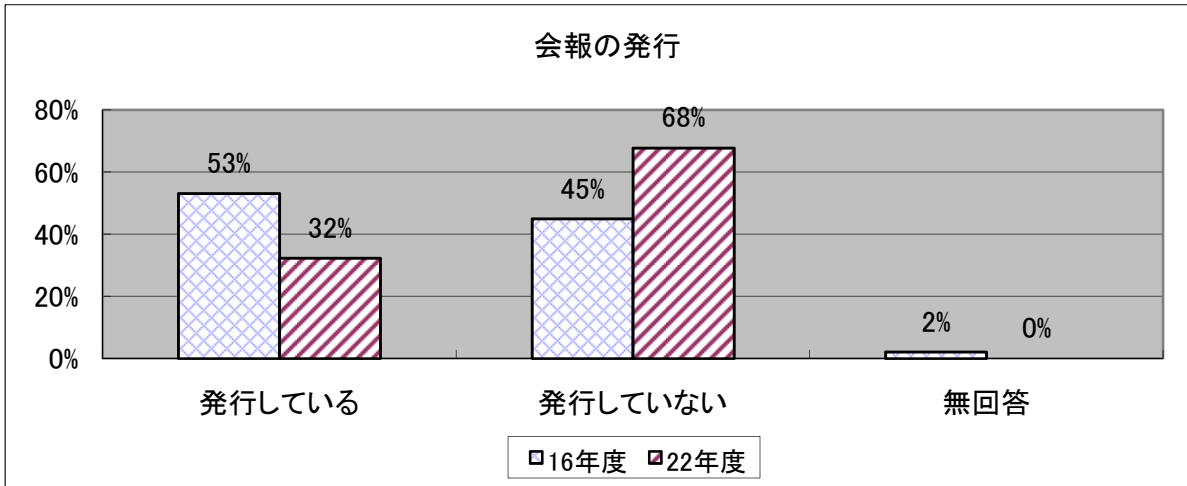
	22年度	
	構成比	団体数
午前(9時～12時)	44%	27
午後(13時～17時)	18%	11
夜間(18時～22時)	0%	0
午前と午後(9時～17時)	16%	10
午後と夜間(13時～22時)	0%	0
終日(9時～22時)	3%	2
その他	18%	11
無回答	2%	1
合計	100%	62



市民活動団体の約8割は、日中(9時～17時)に活動している。

■会報等の発行

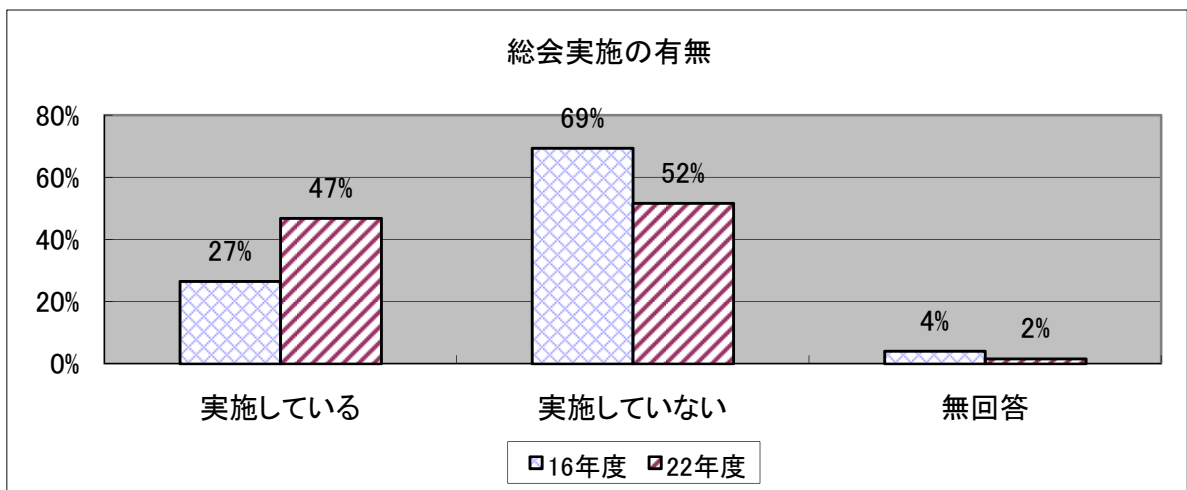
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
発行している	53%	32%	26	20
発行していない	45%	68%	22	42
無回答	2%	0%	1	0
合計	100%	100%	49	62



会報等の発行を行っていない市民活動団体が増加した。

■総会実施の有無

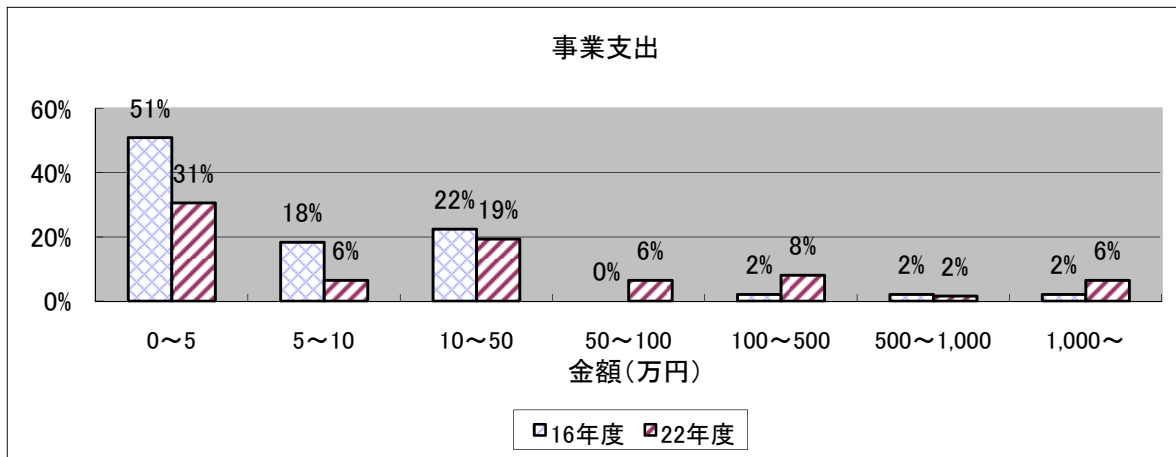
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
実施している	27%	47%	13	29
実施していない	69%	52%	34	32
無回答	4%	2%	2	1
合計	100%	100%	49	62



総会を実施している市民活動団体が増加した。

■事業支出(単位:万円)

	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
0～5	51%	31%	25	19
5～10	18%	6%	9	4
10～50	22%	19%	11	12
50～100	0%	6%	0	4
100～500	2%	8%	1	5
500～1,000	2%	2%	1	1
1,000～	2%	6%	1	4
無回答	2%	21%	1	13
合計	100%	100%	49	62

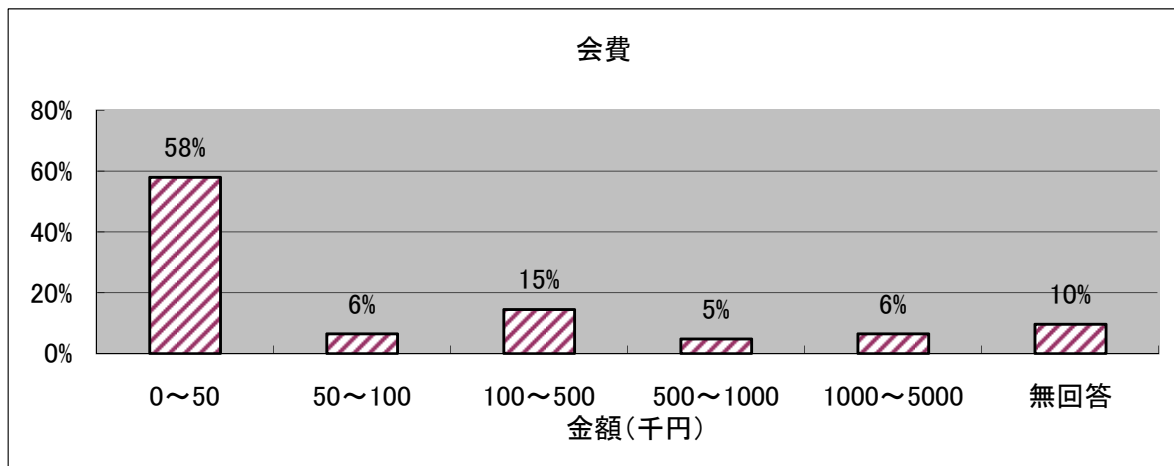


アンケート回答団体の約4割が、年間10万円以下の事業支出となっている。

■前年度の主な収入内訳(単位:千円)

会費

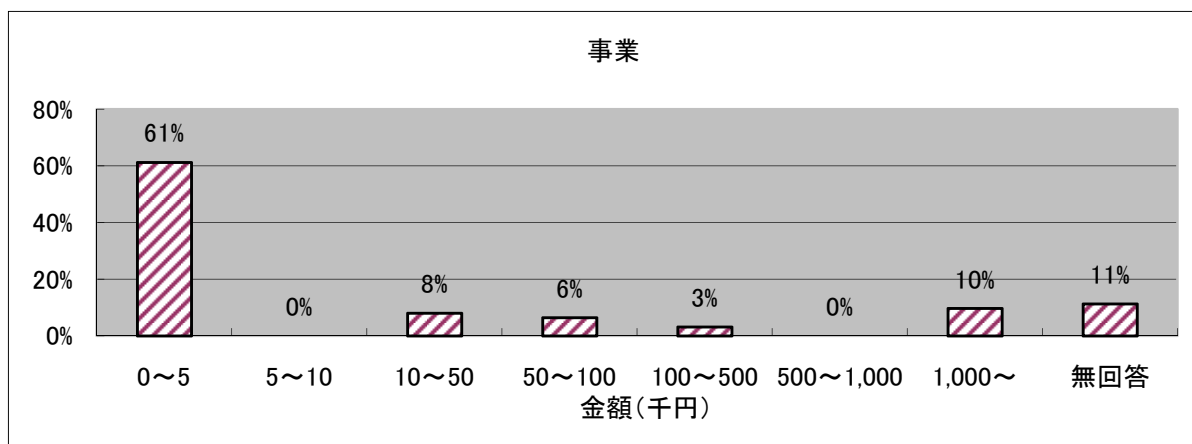
	22年度	
	構成比	団体数
0～50	58%	36
50～100	6%	4
100～500	15%	9
500～1000	5%	3
1000～5000	6%	4
無回答	10%	6
合計	100%	62



会費収入5万円以下の市民活動団体は、約6割となっている。

事業

	22年度	
	構成比	団体数
0～5	61%	38
5～10	0%	0
10～50	8%	5
50～100	6%	4
100～500	3%	2
500～1,000	0%	0
1,000～	10%	6
無回答	11%	7
合計	100%	62

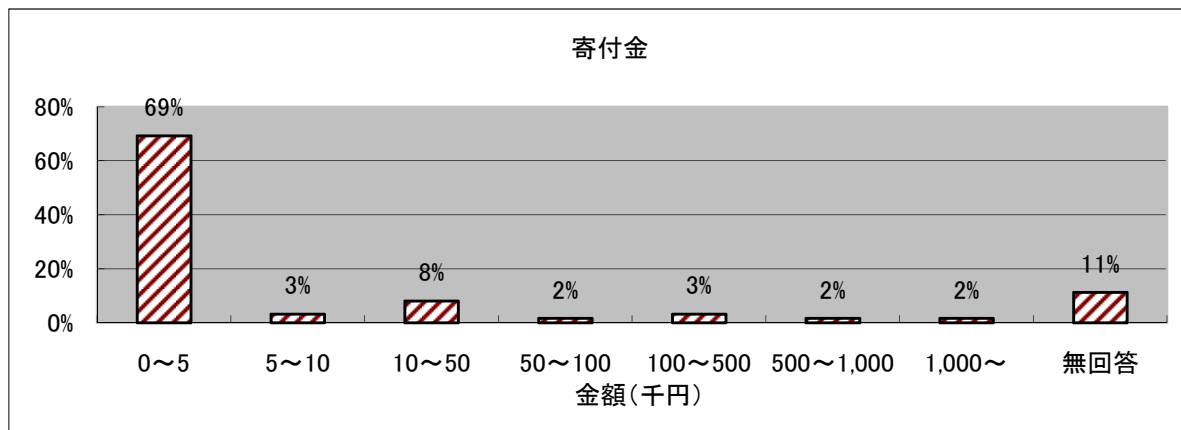


100万円を超える事業収入がある団体は、NPO法人で6団体しかなく、全体の6割の団体は、5千円以下の事業収入である。

寄付金

(単位:千円)

	22年度	
	構成比	団体数
0～5	69%	43
5～10	3%	2
10～50	8%	5
50～100	2%	1
100～500	3%	2
500～1,000	2%	1
1,000～	2%	1
無回答	11%	7
合計	100%	62

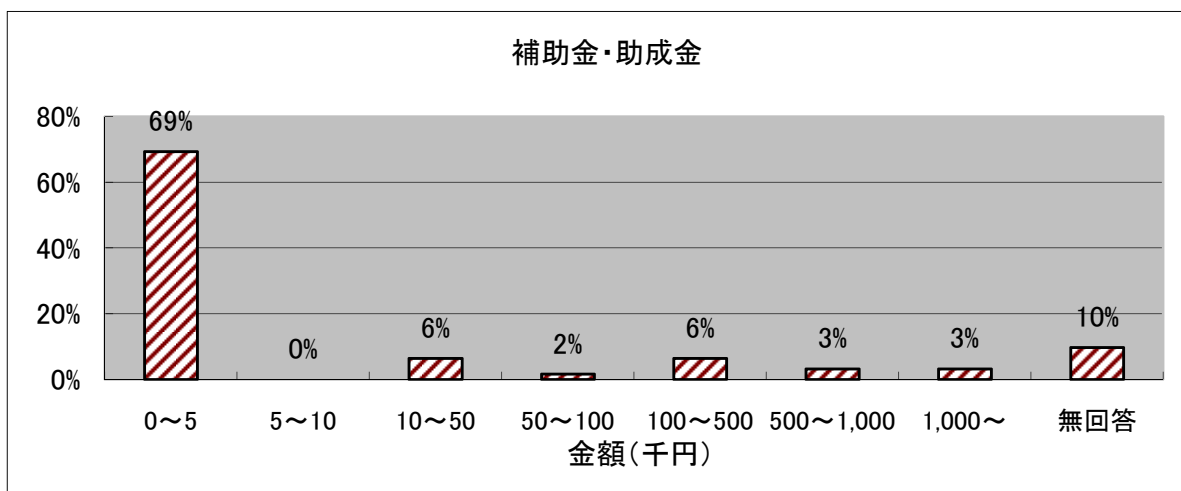


寄付をいただいている団体の7割は、5千円以下の寄付金である。

補助金・助成金

(単位:千円)

	22年度	
	構成比	団体数
0～5	69%	43
5～10	0%	0
10～50	6%	4
50～100	2%	1
100～500	6%	4
500～1,000	3%	2
1,000～	3%	2
無回答	10%	6
合計	100%	62



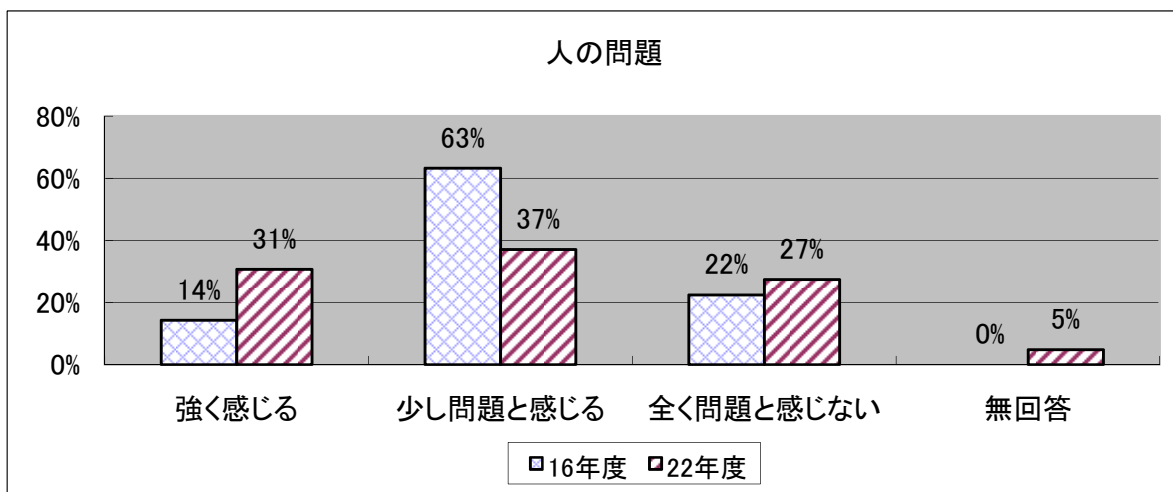
補助金・助成金収入は、5千円以下の市民活動団体がほとんどである。

問2

市民公益活動を進めていくうえで、人・場所・資金・情報等について、問題と感じていることがありますか。

①-1 人の問題

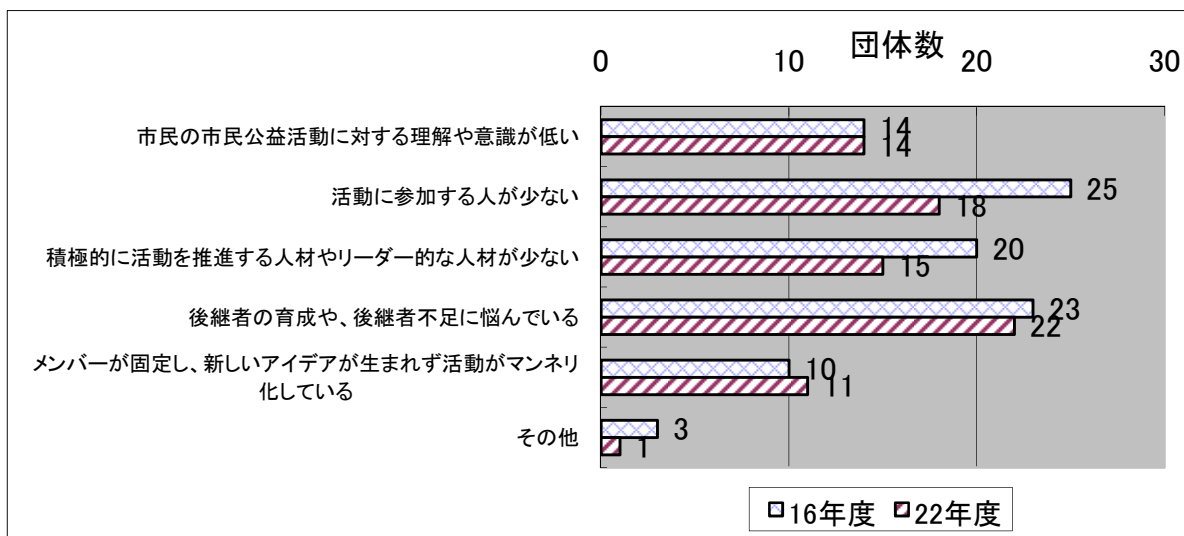
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	14%	31%	7	19
少し問題と感じる	63%	37%	31	23
全く問題と感じない	22%	27%	11	17
無回答	0%	5%	0	3
合計	100%	100%	49	62



①-2

①-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

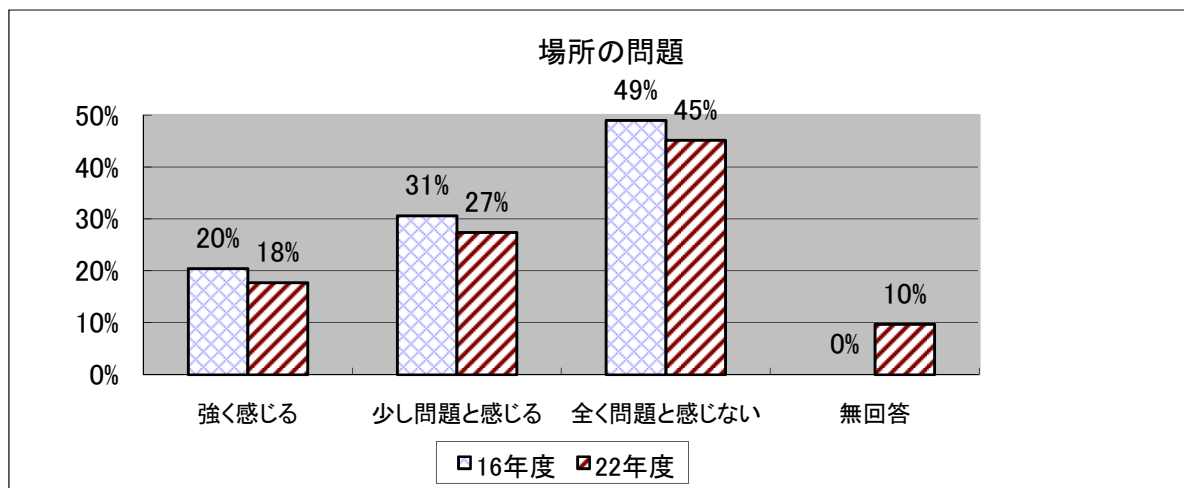
	16年度	22年度
市民の市民公益活動に対する理解や意識が低い	14	14
活動に参加する人が少ない	25	18
積極的に活動を推進する人材やリーダー的な人材が少ない	20	15
後継者の育成や、後継者不足に悩んでいる	23	22
メンバーが固定し、新しいアイデアが生まれず活動がマンネリ化している	10	11
その他	3	1



人の問題について、全体としては、問題と感じている団体は減少しているが、強く問題と感じている団体は増加しており、後継者不足及び活動への参加者が少ないと感じている団体が多い。

②-1 場所の問題

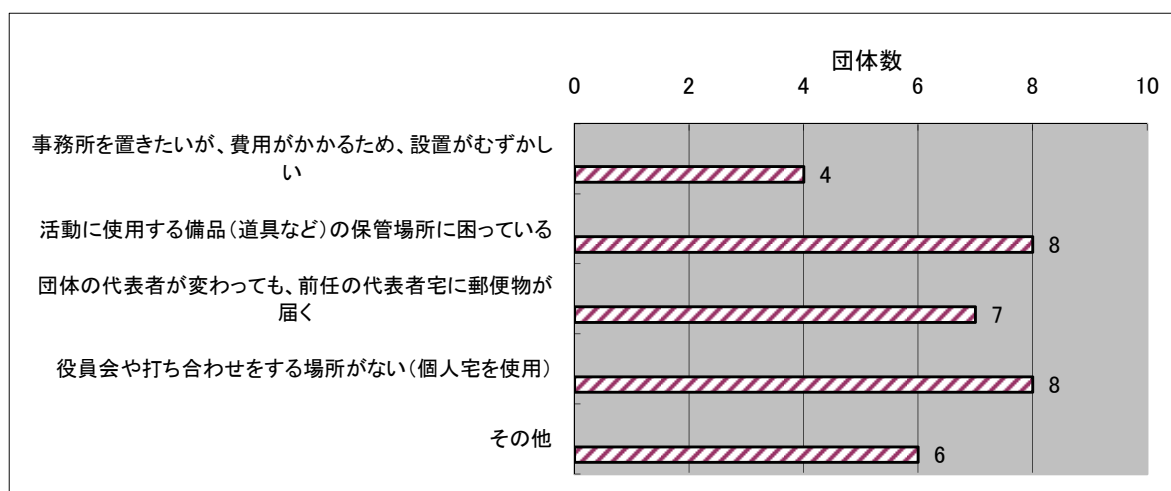
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	20%	18%	10	11
少し問題と感じる	31%	27%	15	17
全く問題と感じない	49%	45%	24	28
無回答	0%	10%	0	6
合計	100%	100%	49	62



②-2

②-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

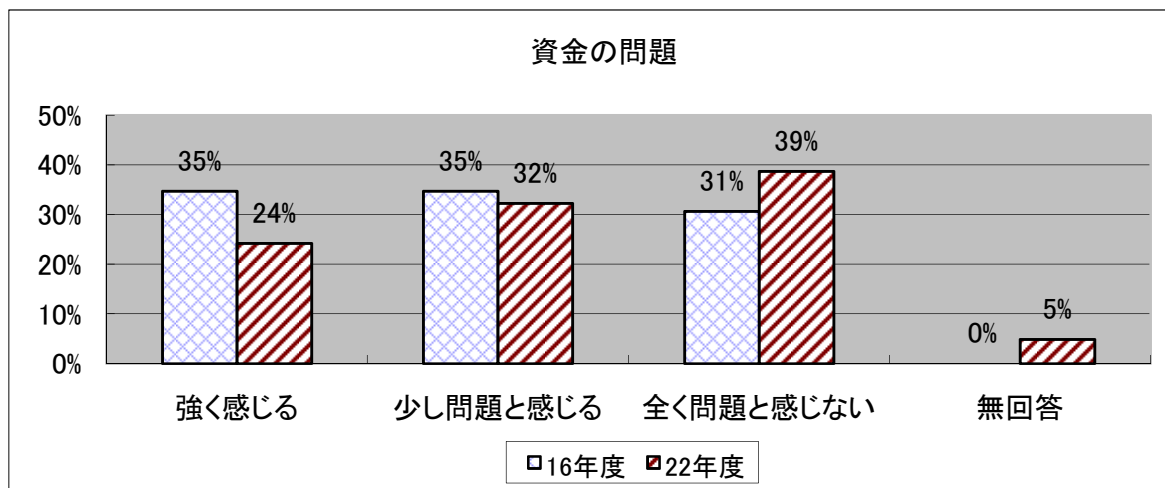
	22年度 回答数
事務所を置きたいが、費用がかかるため、設置がむずかしい	4
活動に使用する備品(道具など)の保管場所に困っている	8
団体の代表者が変わっても、前任の代表者宅に郵便物が届く	7
役員会や打ち合わせをする場所がない(個人宅を使用)	8
その他	6



場所の問題では、問題と感じている団体とそうでない団体が同数であり、前回アンケート結果と変化していない。

③-1 資金の問題

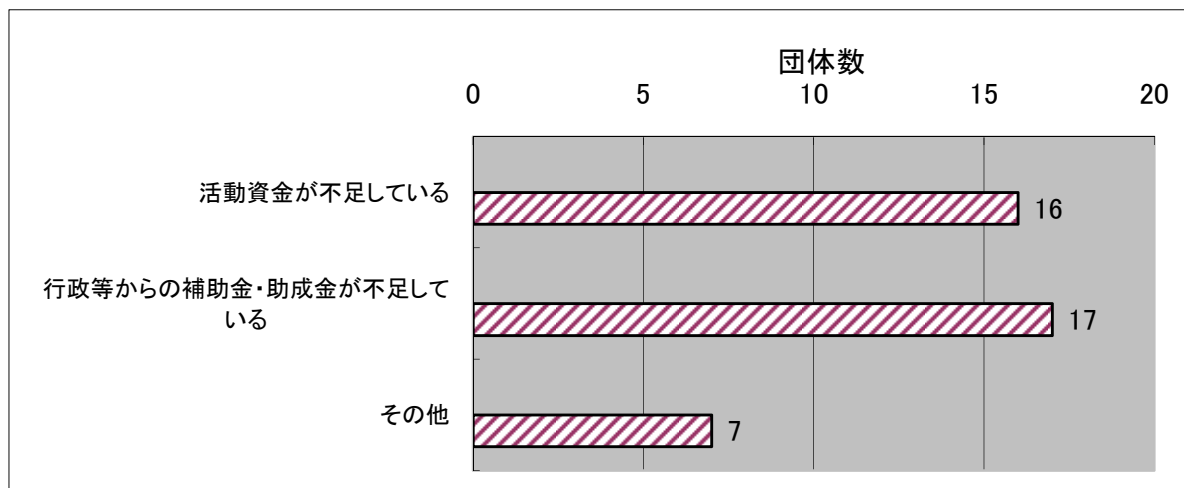
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	35%	24%	17	15
少し問題と感じる	35%	32%	17	20
全く問題と感じない	31%	39%	15	24
無回答	0%	5%	0	3
合計	100%	100%	49	62



③-2

③-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

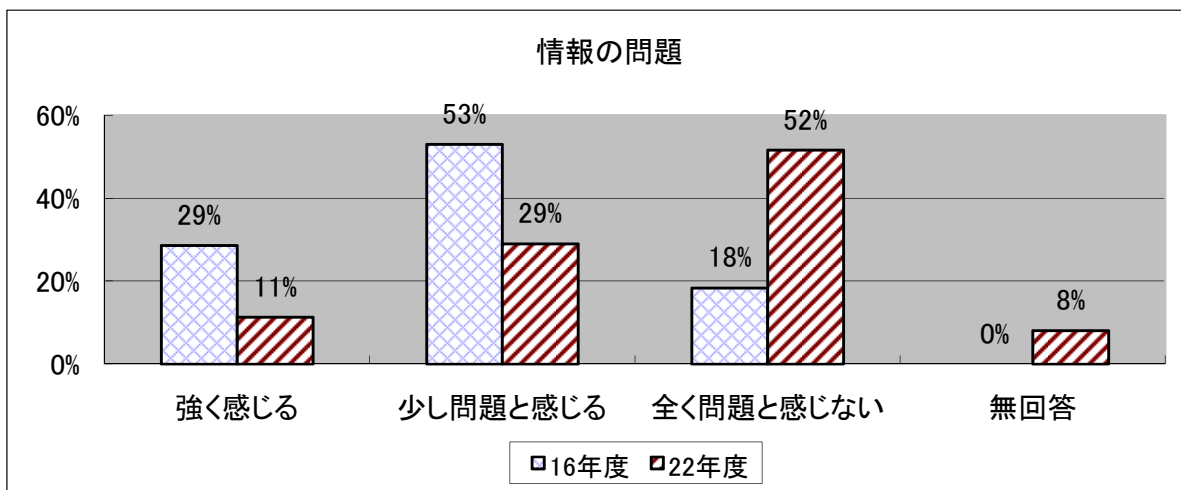
	22年度 回答数
活動資金が不足している	16
行政等からの補助金・助成金が不足している	17
その他	7



資金について問題と感じている団体の割合は減少しているが、アンケート回答団体の約6割が問題であると感じている。

④-1 情報の問題

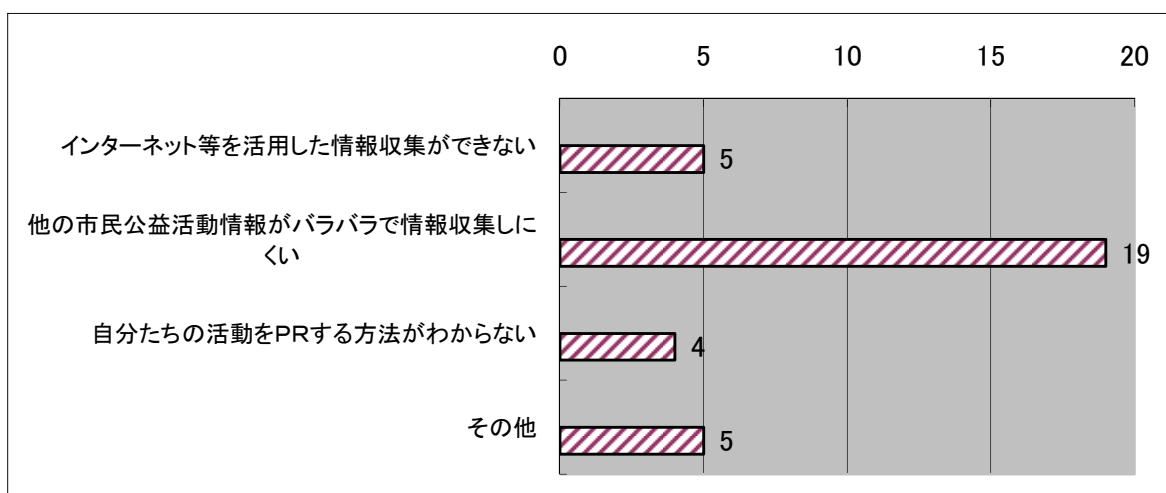
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	29%	11%	14	7
少し問題と感じる	53%	29%	26	18
全く問題と感じない	18%	52%	9	32
無回答	0%	8%	0	5
合計	100%	100%	49	62



④-2

④-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

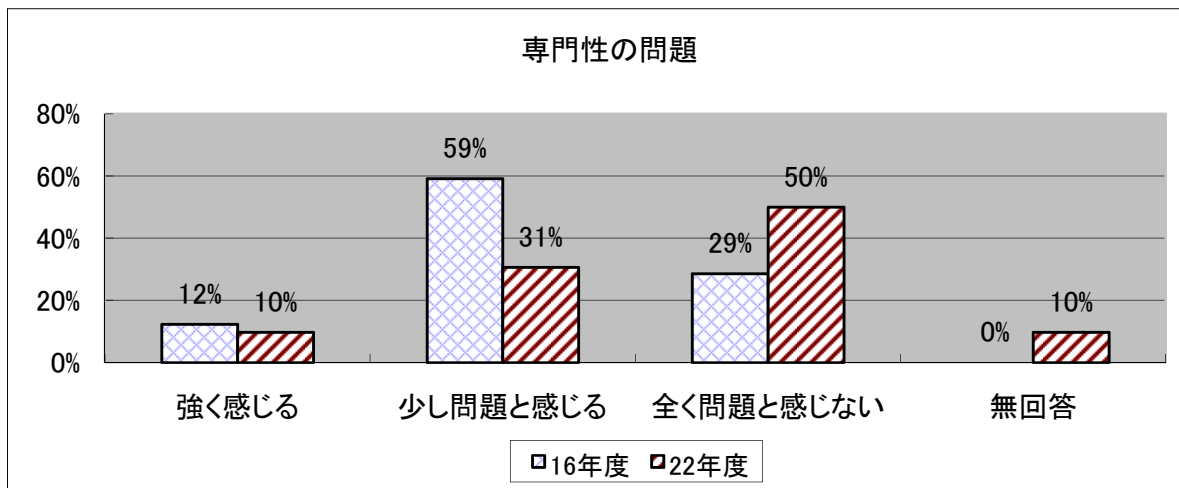
	22年度 回答数
インターネット等を活用した情報収集ができない	5
他の市民公益活動情報がバラバラで情報収集しにくい	19
自分たちの活動をPRする方法がわからない	4
その他	5



情報について問題と感じている市民活動団体は減少しているが、問題と感じている団体は、情報がバラバラで収集しにくいことが問題であると感じている。

⑤-1 専門性の問題

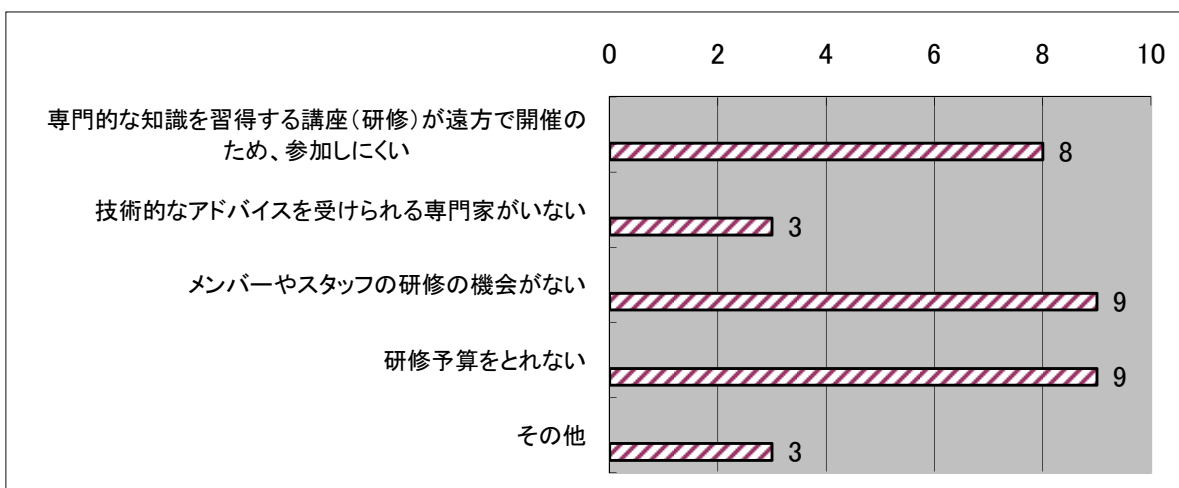
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	12%	10%	6	6
少し問題と感じる	59%	31%	29	19
全く問題と感じない	29%	50%	14	31
無回答	0%	10%	0	6
合計	100%	100%	49	62



⑤-2

⑤-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

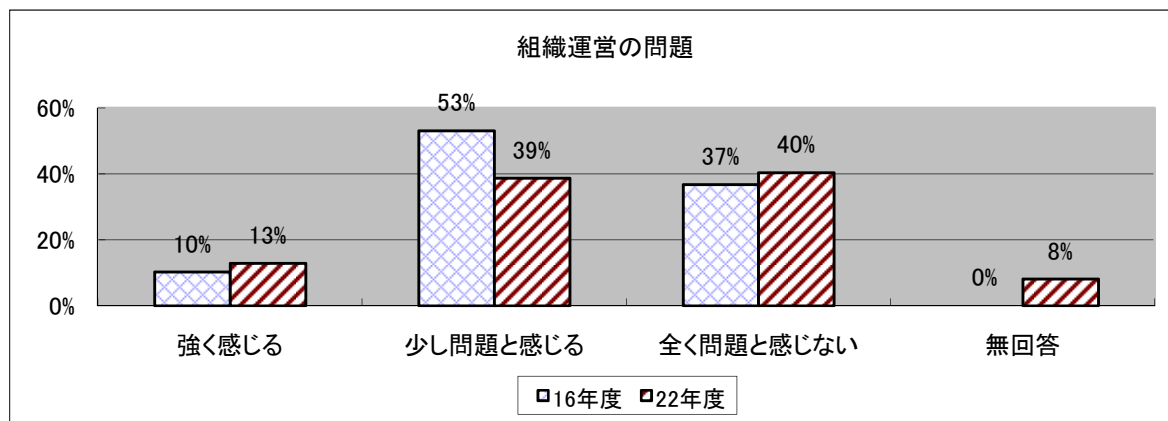
	22年度 回答数
専門的な知識を習得する講座(研修)が遠方で開催のため、参加しにくい	8
技術的なアドバイスを受けられる専門家がない	3
メンバーやスタッフの研修の機会がない	9
研修予算をとれない	9
その他	3



専門性を問題と感じている市民活動団体は、減っている。

⑥-1 組織運営の問題

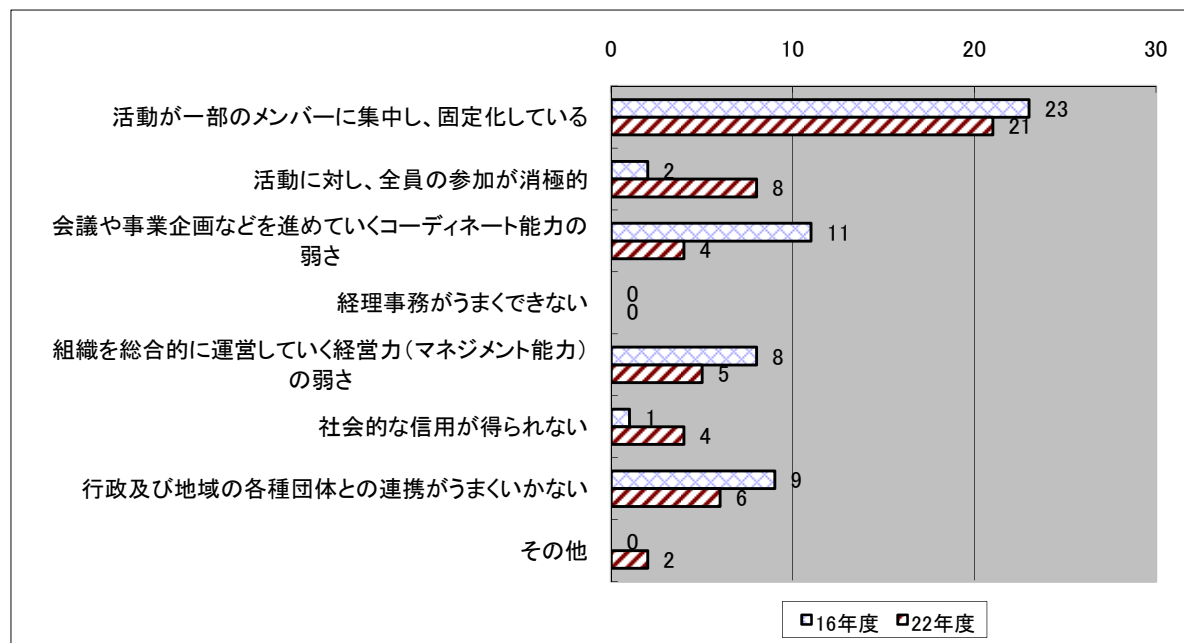
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	10%	13%	5	8
少し問題と感じる	53%	39%	26	24
全く問題と感じない	37%	40%	18	25
無回答	0%	8%	0	5
合計	100%	100%	49	62



⑥-2

⑥-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

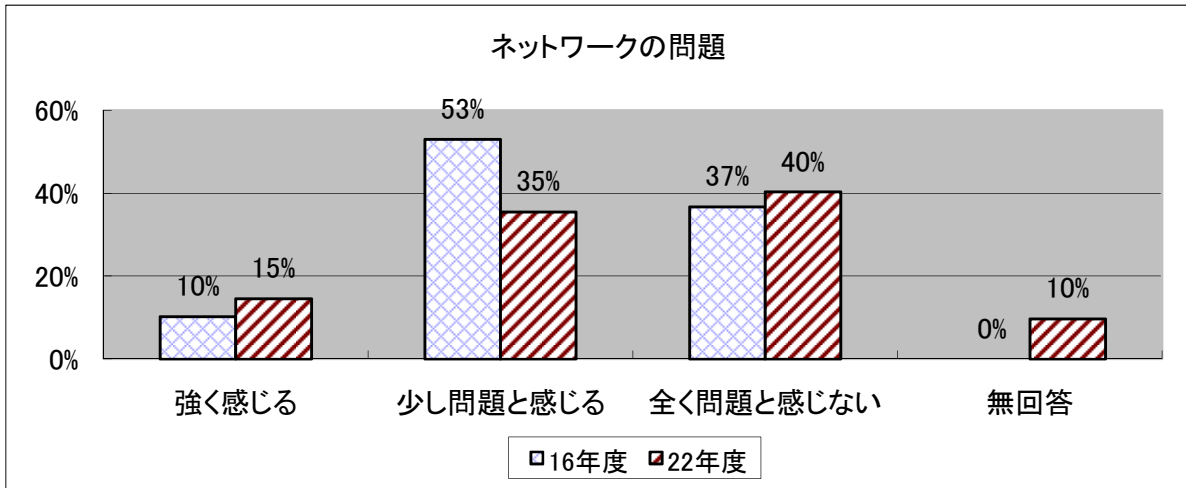
	回答数	
	16年度	22年度
活動が一部のメンバーに集中し、固定化している	23	21
活動に対し、全員の参加が消極的	2	8
会議や事業企画などを進めていくコーディネート能力の弱さ	11	4
経理事務がうまくできない	0	0
組織を総合的に運営していく経営力(マネジメント能力)の弱さ	8	5
社会的な信用が得られない	1	4
行政及び地域の各種団体との連携がうまくいかない	9	6
その他	0	2



組織運営に問題があると回答している団体は、回答団体の5割以上あり、特に活動メンバーの固定化が問題であるとしている。

⑦-1 ネットワークの問題

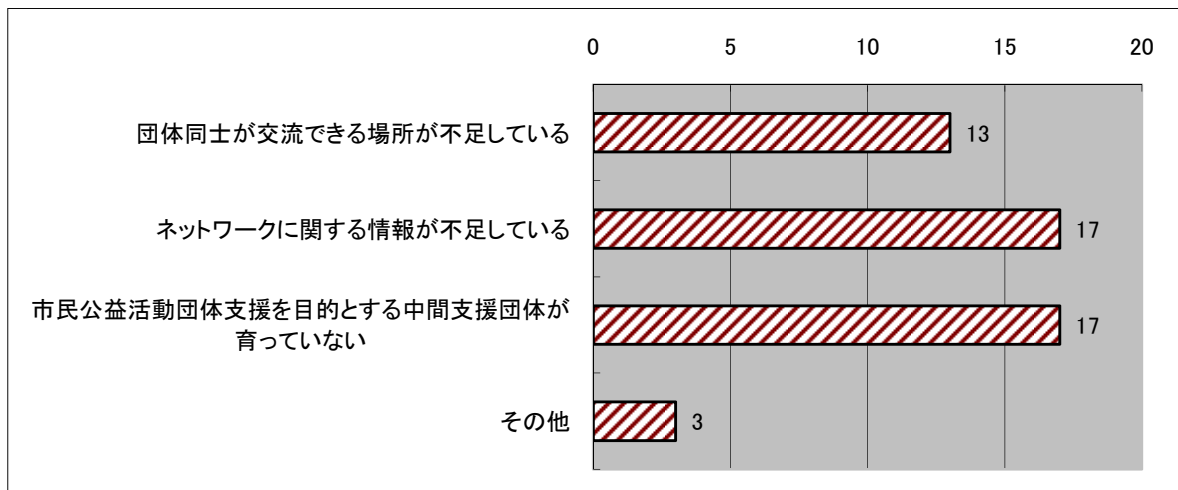
	構成比		団体数	
	16年度	22年度	16年度	22年度
強く感じる	10%	15%	5	9
少し問題と感じる	53%	35%	26	22
全く問題と感じない	37%	40%	18	25
無回答	0%	10%	0	6
合計	100%	100%	49	62



⑦-2

⑦-1を問題と感じる原因(該当するものすべてに○)

	22年度 回答数
団体同士が交流できる場所が不足している	13
ネットワークに関する情報が不足している	17
市民公益活動団体支援を目的とする中間支援団体が育っていない	17
その他	3

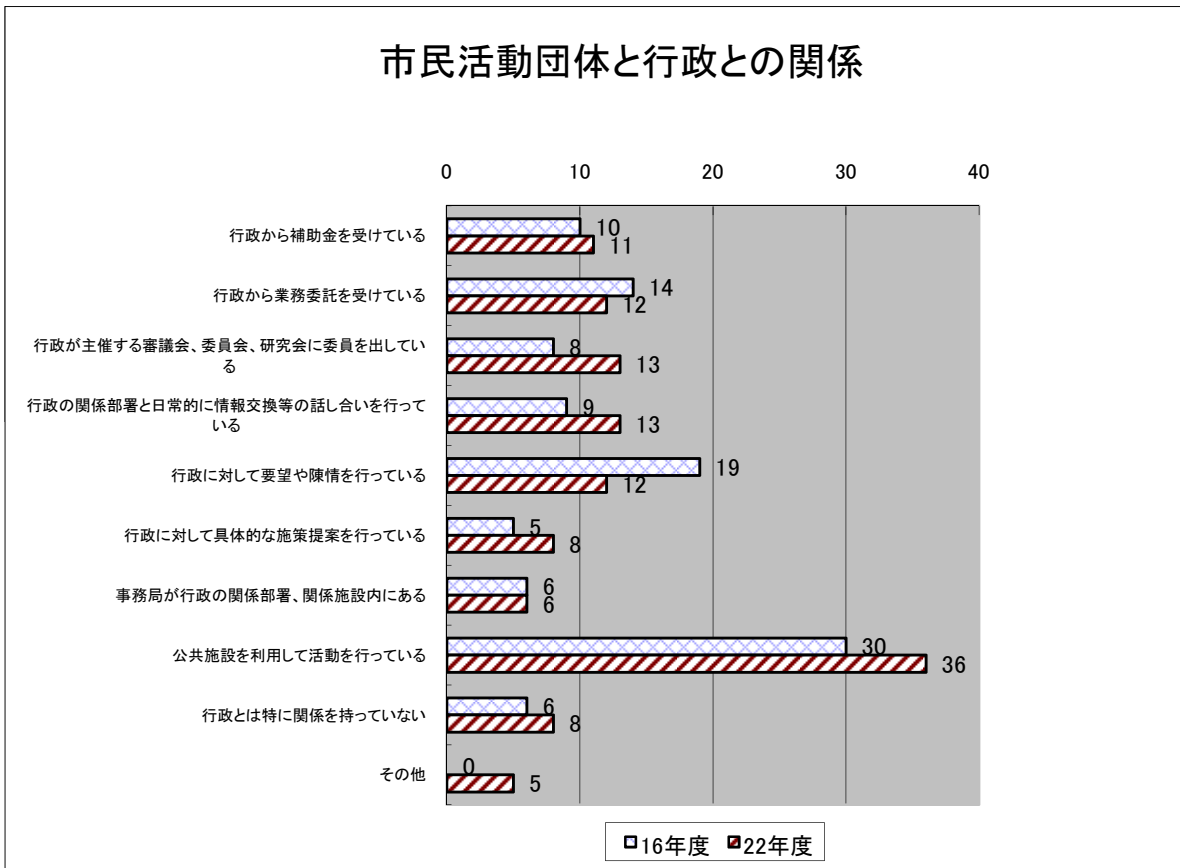


アンケート回答団体の5割はネットワークについて問題を感じており、ネットワークに関する情報不足と中間支援団体が育っていないことが原因であると感じている。

問3

現在、あなたの団体と行政は、どのような関係にありますか。(該当するものすべてに○)

	回答数	
	16年度	22年度
行政から補助金を受けている	10	11
行政から業務委託を受けている	14	12
行政が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している	8	13
行政の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている	9	13
行政に対して要望や陳情を行っている	19	12
行政に対して具体的な施策提案を行っている	5	8
事務局が行政の関係部署、関係施設内にある	6	6
公共施設を利用して活動を行っている	30	36
行政とは特に関係を持っていない	6	8
その他	0	5

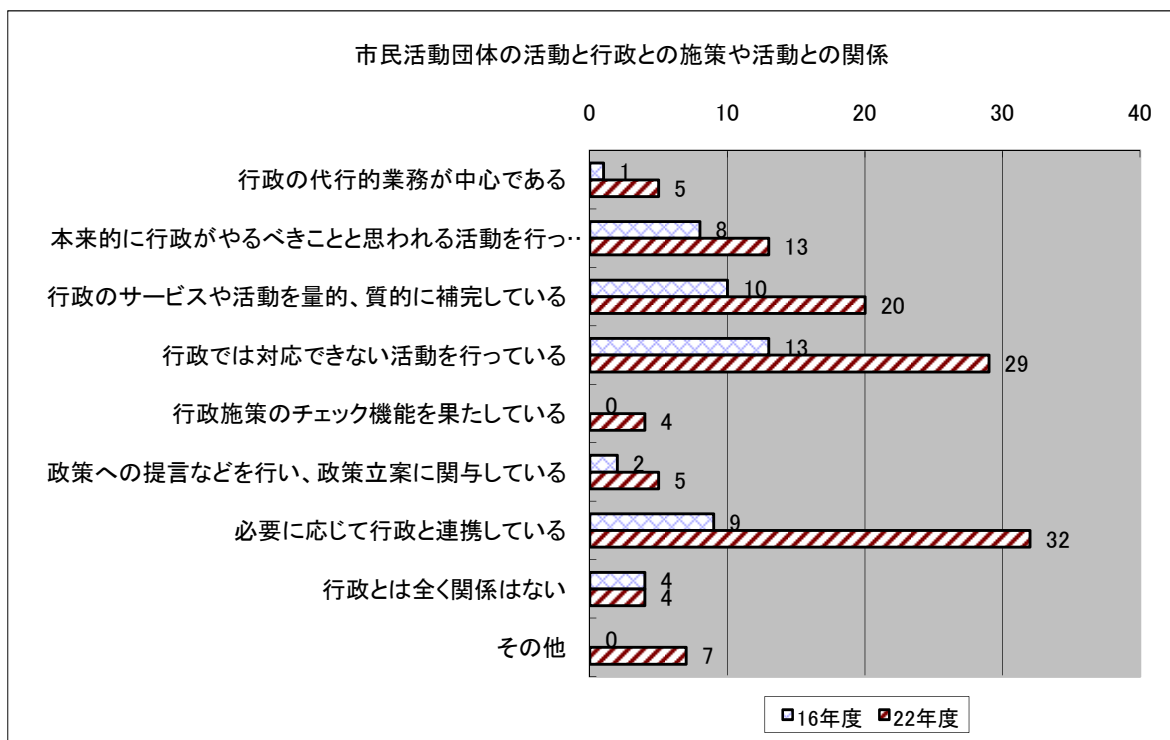


市民活動団体と行政との関係について、活動場所として、公共施設を利用している団体が多い。
 また、前回調査では、行政との関係について、陳情・要望が多かったが、日常的に行政と情報交換したり、行政主催の委員会等に参加している市民活動団体が多くなっている。

問4

現在、あなたの団体の活動は、行政の施策や活動とどのような関係にありますか。
 (該当するものすべてに○)

	回答数	
	16年度	22年度
行政の代行的業務が中心である	1	5
本来的に行政がやるべきことと思われる活動を行っている	8	13
行政のサービスや活動を量的、質的に補完している	10	20
行政では対応できない活動を行っている	13	29
行政施策のチェック機能を果たしている	0	4
政策への提言などを行い、政策立案に関与している	2	5
必要に応じて行政と連携している	9	32
行政とは全く関係はない	4	4
その他	0	7

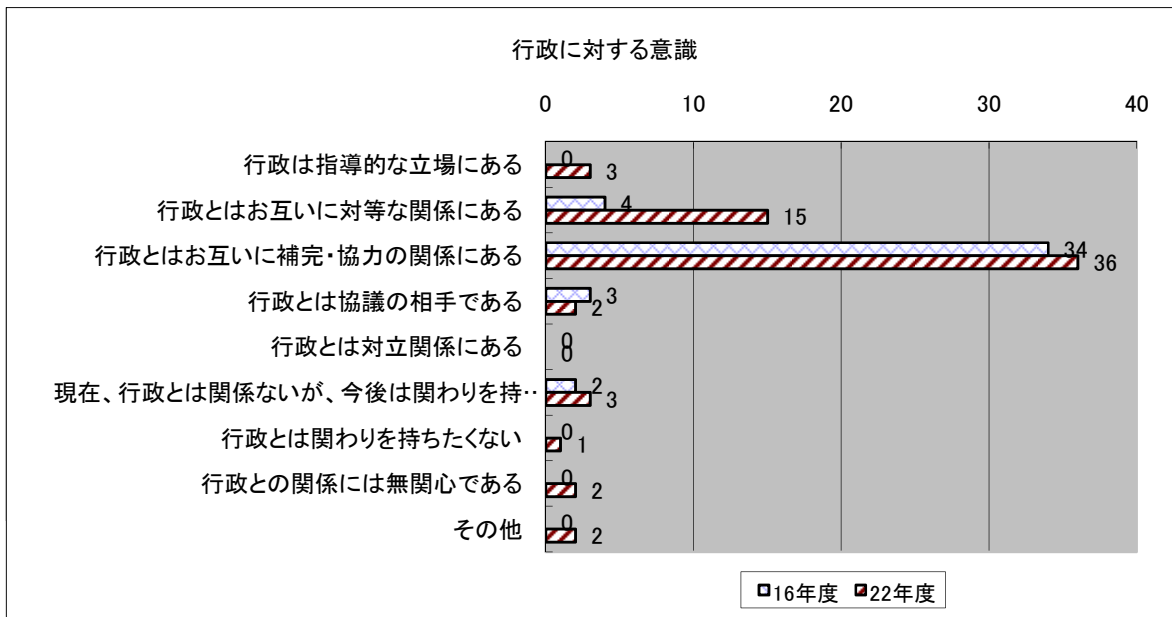


市民活動団体は、行政との関係について、補完及び連携という形で、行政と関わっている。また、行政が対応しにくい活動についても活動を行なっている。

問5

あなたの団体は、行政に対してどのような意識を持っていますか。(1つ)

	回答数	
	16年度	22年度
行政は指導的な立場にある	0	3
行政とはお互いに対等な関係にある	4	15
行政とはお互いに補完・協力の関係にある	34	36
行政とは協議の相手である	3	2
行政とは対立関係にある	0	0
現在、行政とは関係ないが、今後は関わりを持ちたい	2	3
行政とは関わりを持ちたくない	0	1
行政との関係には無関心である	0	2
その他	0	2

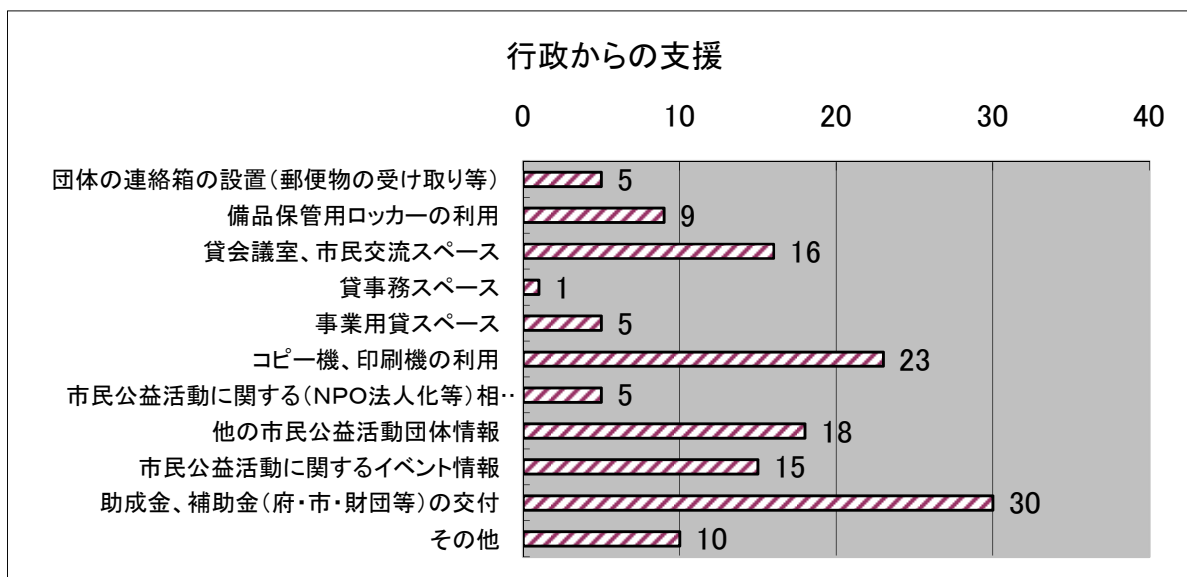


行政に対する意識として、基本的には「お互いが協力・補完しあう関係」であると感じている団体が多くなっている。また、「対等な関係」であると感じている団体も前回調査より増加している。

問6

あなたの団体の活動基盤強化及び発展に結びつく行政からの支援(3つ)

	22年度 回答数
団体の連絡箱の設置(郵便物の受け取り等)	5
備品保管用ロッカーの利用	9
貸会議室、市民交流スペース	16
貸事務スペース	1
事業用貸スペース	5
コピー機、印刷機の利用	23
市民公益活動に関する(NPO法人化等)相談業務	5
他の市民公益活動団体情報	18
市民公益活動に関するイベント情報	15
助成金、補助金(府・市・財団等)の交付	30
その他	10

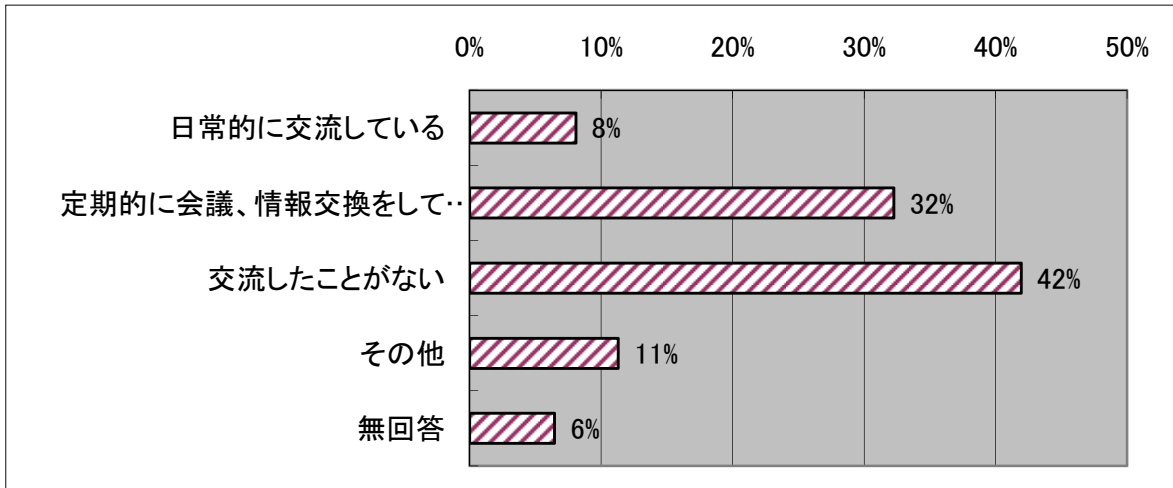


市民活動団体の活動発展に結びつく行政からの支援として、「資金」、「啓発チラシの作成」、「交流スペース」及び「情報」などのニーズが高くなっている。

問7

あなたの団体は、他の分野の市民公益活動団体と交流の機会がありますか。(1つ)

	22年度	
	構成比	団体数
日常的に交流している	8%	5
定期的に会議、情報交換をしている	32%	20
交流したことがない	42%	26
その他	11%	7
無回答	6%	4
合計	100%	62

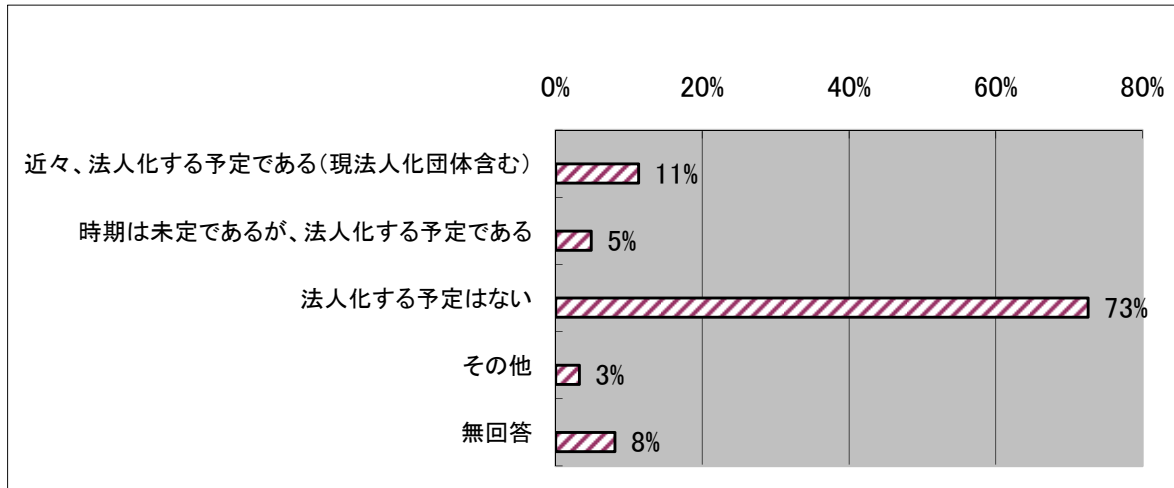


日常的に交流したり、定期的に情報交換している団体と、交流したことがない団体は、ほぼ同数である。

問8

あなたの団体は、法人化する予定がありますか。(1つ)

	22年度	
	構成比	団体数
近々、法人化する予定である(現法人化団体含む)	11%	7
時期は未定であるが、法人化する予定である	5%	3
法人化する予定はない	73%	45
その他	3%	2
無回答	8%	5
合計	100%	62



法人化する予定のない市民活動団体が多い。

問9

あなたの団体は、行政と連携してどのようなことをしたいですか。

①より良い環境づくり

- ・新しいまちづくりとして、生活環境の美化
- ・市民の憩いの場所づくり
- ・次世代へより身近な自然環境を残したい
- ・障がい児(者)が住みよいまちづくり
- ・地域の皆さんが利用しやすい、きれい・安全な公園の整備
- ・自然について学習、研究、展示をする場所を恒常的に確保したい
- ・ホテルの育成環境を良くする方策
- ・指定管理事業など高齢者の方がより多く社会参画できる環境づくり
- ・子どものための交流スペースの確保

②人的関係等

- ・指導者の派遣
- ・学校図書館(司書)の充実
- ・地域を限定しないで、たくさんの親子連れの参加

③行政等との連携・支援

- ・行政と市民とが施策について議論する機会と場を設け、官民協働を実現したい
- ・行政活動の見直しや検討などに寄与
- ・行政からの委託事業
- ・生活習慣病予防改善の意識改革と医療費の削減に取り組めるよう側面からの応援を
- ・行政のバックアップ(コーラスの阪南市・音楽の街阪南市)
- ・活動を継続していくため市や教育委員会との共催を願っている
- ・有害図書類等の実態調査を行政と連携して
- ・市民団体との連携を行政が必要としているかどうか疑問
- ・防災ネットワークづくり

④その他

- ・社会問題にタイムリーに講演会、研修会等を開催し、市民に問題意識を持ってもらい、解決の方法を探り行政に反映
- ・活動そのものが昔も今も変わらなくてよい
- ・子どもの安全確保のため公民で活動内容を把握、統一行動を重視し、バラツキがないようにしたい
- ・共催で「おやつ」をテーマに試食をつくり、おやつの大切さ等を考えながら食改としての活動を若いお母さん方に知っていただきたい

問10

あなたの団体は今後の活動をどのように発展させたいですか。

①より良い環境づくり

- ・歴史公園、憩いの場公園となるよう美化、景観、自然保護に配慮しながら活動を続けたい
- ・年中花の咲いている児童遊園に
- ・活動の情報交換が日常的にできる場の確保
- ・田山川流域の美化・自然環境保全をさらに積極的に行いたい
- ・花のある公園、こころ和む公園、ゴミの無い犬の糞の無い子どもがハダシで遊べる公園
- ・子どもの居場所の一つとして大切と思うので、利用者がある限り続けたい
- ・綺麗なまちづくりに貢献
- ・在住の外国人が集まってこれる居場所、コミュニティ場所づくりが急務
- ・地域住民が参加しやすいよう活動内容を詳しく提示し、地域全体の活動に発展させる
- ・ホテルの成育環境を改善する方策も検討していきたい
- ・子どもセンターで18歳までの子ども達が青年や大人と交流しながら育っていく環境づくり

②人的関係等

- ・若返り対策を考えている
- ・会員相互の親睦
- ・若い人の入会を希望
- ・未就園児母子だけでなく異年齢の方々とも出会える場所に
- ・参加希望される人で活動
- ・健康維持、増進に多くの方々に参加していただくこと
- ・合唱フェスティバルへの参加と老人介護施設へのボランティアを中心に、他の合唱団、音楽家とのコラボレーションも行いたい
- ・多くの市民が気軽に参加できる団体であり続けたい
- ・一人ぐらしの方にどんどん参加していただきたい
- ・あらゆる分野で活躍された方々を募集し、活動分野を広げていきたい

③行政等との連携・支援

- ・市立図書館のサポーター「ブックファン」の活動と連携しながら、学校図書館の充実を目指したい
- ・行政やいろんな活動を通じてのネットワーク作り
- ・障がい者への就労支援
- ・協力してくれる団体との連携
- ・青少年に対して学校の特別授業で生き方の指導をしているが、より広げていきたい

④その他

- ・サークル的な活動
- ・健やかな高齢化のため
- ・地域の活性化につなげ、市民相互の信頼関係の高揚や助け合いに寄与
- ・地域住民の参画意識を高め、会員増員の努力。公園利用についても子どもたちを対象にしたイベントの開催
- ・本の楽しさ、おもしろさをもっと具体的に紹介
- ・蔵書のリストやミニ冊子の作成
- ・今の活動の質をあげたい
- ・岡田式健康法を定期的開催していきたい
- ・親子の広場を年1回から月1回開催できればと思っている
- ・できるだけ定期的な活動にしていきたい
- ・多くの障がい者が利用できる運営